

資料3

テーマ2 「ふるさと中川学（仮）」による グローバルな学びの創出

～村の美しさ（魅力）の再発見～

＜前回協議の整理＞

- 1 中川村の**多彩な人々**
- 2 中川村の**美しい自然**
- 3 中川村の**美味しい農産物**
- 4 中川村**ならではの暮らし（歴史、文化含む）**
- 5 その他

※別紙資料 部会1まとめ①

■村の**美しさ（魅力）の再発見**

- 1 中川村の多彩な人々と「**出会う**」
- 2 中川村の美しい自然を「**残す**」
- 3 中川村の美味しい農産物を「**作る**」
- 4 中川村ならではの暮らし（歴史、文化含む）を「**楽しむ**」
- 5 その他

※別紙資料 部会1まとめ②

■ワクワクして学び、リアルな体験ができる

ふるさと中川学（仮称）

多彩な人々 美しい自然
美味しい農産物 ならではの暮らし

フリーラーニング

学校

学校と地域が
連携・協働
して

地域

学校：総合的な学習の時間、生活科、教科学習、学校行事など

学校以外：児童クラブ、放課後こども教室、未来塾など 地域：地区行事など

テーマ3

学校と地域が連携・協働して行う 「ふるさと中川学（仮称）」

～どうすれば子ども達にワクワクした学びや、リアルな体験を提供できるか？～

- 前回の意見を整理して5つのテーマをつくっています
- 本日は1テーブル1テーマとし、具体的にどのような活動をどのような体制で実践していくのがよいかについて検討します

〈5つのテーマ〉

- ①**地域の人と出会い、人生に触れる、中川版キャリア教育をどのように実践するか**
(例えば、現在はキャリアフォーラムという場があり、村内で様々な仕事をされている人達と中学生、小学生が出会う機会を持っている)
- ②**「ふるさと中川学（仮称）」を授業や学校行事を使ってどのように実践するか**
(生活科や総合的な学習の時間、フリーラーニングなど、地域の人達がサポーターになったり講師になったりする学びとして、どのように実現していけるか)
- ③**「ふるさと中川学（仮称）」を課外活動とどのように連携させるか**
(子ども達の放課後や休日、長期休業をどのように豊かにしていけるか)
- ④**美味しい野菜・果物やそれを産み出す農業があることをどう活かすか**
(地産地消を進めている給食など、食育としても結びつけていけるか)
- ⑤**地域の行事や文化を子ども達にどのように継承し担い手になってもらうか**
(地区行事をやめるところも出てきている。また、子ども達の意識としてスポーツクラブや部活動が優先される傾向もある)

①地域の人と出会い、人生に触れる、中川版キャリア教育をどのように実践するか

(例えば、現在はキャリアフォーラムという場があり、村内で様々な仕事をされている人達と中学生、小学生が会う機会を持っている)

A. 具体的な活動：緑付せん

※いつ（授業、学校行事、放課後、休日など）

※どこで（教室、畑、キャンプ場など）

※何を

B. 体制：ピンク付せん

※誰が（学校・地域・行政など）

※どう動く（それぞれの役割）

●意見交換の時間割

ラウンド	時間
ラウンド1	30分
ラウンド2	20分
ラウンド3	20分

●意見交換のルール

みんなが気持ちよく話せるよう…、

- ①発言は簡潔に
- ②意見をよく聞く
- ③否定はしない

「ふるさと中川学（仮称）」の解像度を上げるための意見交換です。
意見は事務局が整理するので、多様なご意見をご提供ください。